

2013 JCF Japan Series J1 最終戦 レースレポート

MIYATA-MERIDA BIKING TEAM 井本京吾

長いようで短いレースシーズンの最終戦がとうとうやってきた。

前回のジャパンシリーズ第四戦富士見が台風直撃の影響で急遽中止となり、全日本選手権以来のレースとなる。トレーニングは順調だったが腰を痛めてしまい、治療しながらトレーニングをおこなっていた。

金曜日からチームカーで移動し、現地入り。土曜日からの試走となったが、宿が会場の目の前ということもあり、時間を気にせず試走することができた。しかし、土曜日は雨が降っていた。コースコンディションは悪くなる一方、タイヤを IRC シラクに変え、体を冷やさないようにし、コースの確認と体に刺激を入れ、必要最小限の時間で切り上げた。

長時間の車移動で腰が痛む。急遽マッサージをお願いし、痛みを和らげてもらう。大会期間中、山地監督の誕生日だったので、チームみんなでお祝い！ホテルではとてもリラックスした時間を送ることが出来た。

大会当日

昨日の天候が嘘のように晴れ！レース日和。HOLMENKOL のケミカルと CARRERA のサングラスは悪天候になればなるほど他メーカーとのアドバンテージを得ることができるので、内心残念だったがドライ用のセッティングをしてもらう。タイヤもミトスに変更、準備が整いあとは自分が力を出すだけ。

スタート召集が開始され、スタートエリアへと向かった。

スタート前はやはり緊張する、CARRERA C-TF02 をかける レンズはお気に入りのピンク。大きく深呼吸をし、リラックスするために空を眺めた。ステージングが始まり、トップ選手がコールされて行く。テンションは最高に高まり、午後1時30分 今シーズン最後のレースがスタートした。

ペダルが上手くはならず、前と一台分間が開いてしまったが、冷静にスタートを切り、最初の激坂区間に入る。ぬかるみにはまり、バイクに乗ったり押したりを繰り返しながら流れに乗っていく。鉄板でスリップし、転倒して順位を落としてしまうが、冷静に周りが見えており、上り区間、軽量ホイールの DT SWISS XRC1150 の力を借りて前の選手をいっきに抜いていく。下りもスムーズに走れている。十数番手で一周目を終える、前にも集団が見える。

しかし、次第に腰の痛みが出てき始めている。二周目、三周目と傷みは増していきペースも落ちていくのが分かる。下り区間も腰の痛みが響く。順位も落ちていく。四周目、腰を伸ばしながら騙しだまし走って行く。フィードで監督から「最後だぞ！」と最終周回用のボトルをわたされた。もう最後なんだ。。。出し切るんだと、自分に言い聞かせ今踏める限界のギアでペダルを回していく。上りでは、シッティングだと力が入らな

なくなってしまっていたので、すべてダンシングでクリアしていく。呼吸も荒くなっていくが、周りの選手も辛そうだ。ダンシングで踏んでいくことで自分のリズムが作れはじめ、前の選手への追走を開始した。腰を伸ばして痛みをとり、加速を繰り返していく。なんとか5周目に入ることが、いつ切られるか分からない。もう一周行こう。抜きつ抜かれつを繰り返し、最後の力を振絞り最終ラップへ入っていった。

目の前にまだ数名の選手が見えているなんとか抜いて先頭で下りに入りたかったのだが、集団のペースが上がり、追いついたが抜くことが出来なかった。最後のシングルトラックを抜け、やっとゴールラインが見えてくる。最後まで応援してくれた方々に感謝し全力でスタッフが待ってるゴールへ駆け込んだ。

19位と満足のいく結果ではなかったが、全力は出せた。チームは斉藤亮選手の優勝で、二年連続のチーム優勝が決ま

った。MERIDA-MIYATA BIKING TEAMを応援して下さった皆様、サプライヤー様、一緒に戦って下さったチーム員 MERIDA ファミリー全員でとることの出来た二年連続チーム優勝その一員になれたことにとっても感謝したいです。本当にありがとうございました。



使用機材

バイク MERIDA O.NINE

フォーク DT SWISS XRC100 RACE REMOTE

ホイール DT SWISSXRC1150

タイヤ IRC MYTHOS XC TUBELESS 2.1

ヘルメット KABUTO KOOFU/WG-1

グローブ KABUTO PRG-2

インソール エアルファースト

ケミカル HOLMENKOL

ジャージ WAVE ONE

サングラス CARRERA C-TF02 LIGHT BLUE